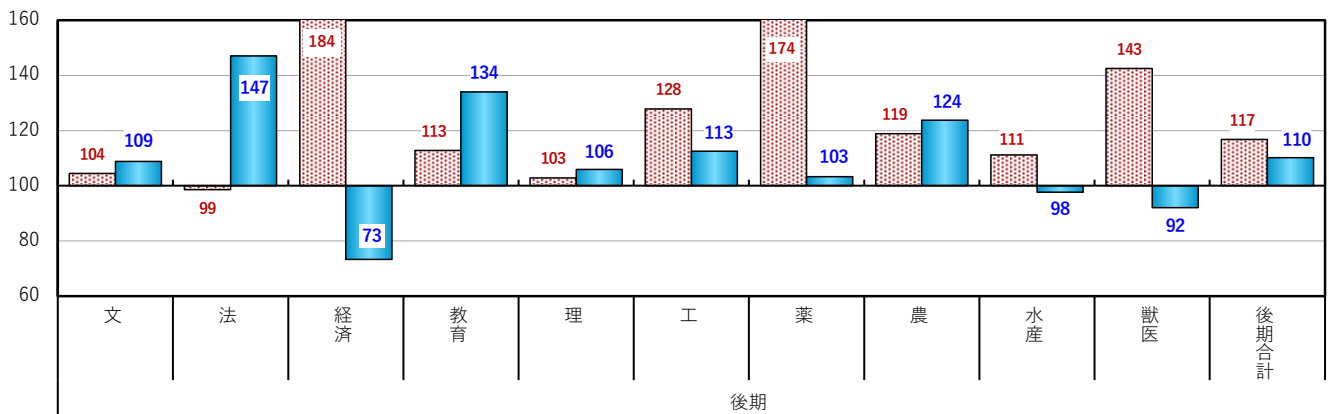
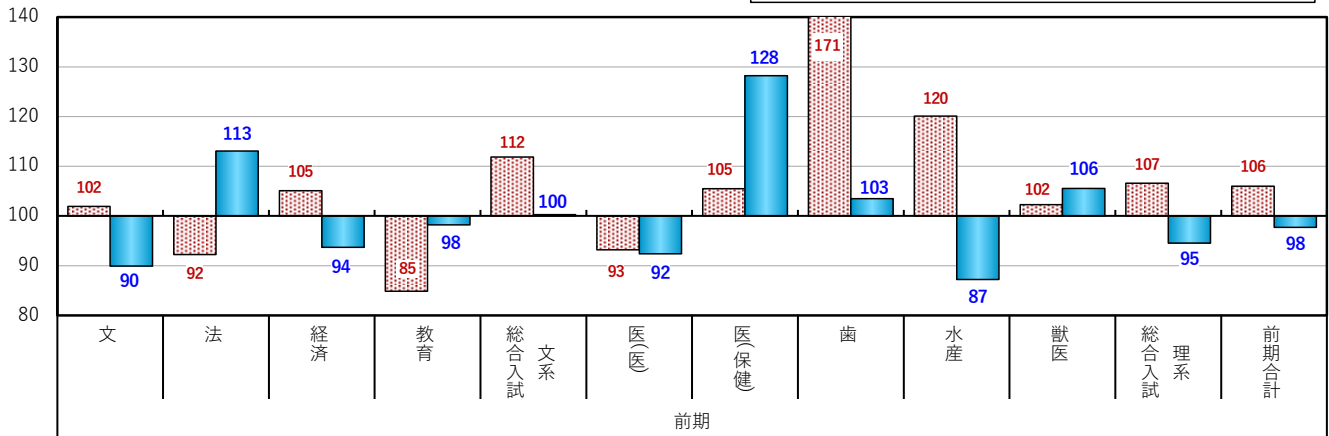


北海道大：前期は微減、後期は 11 年ぶりに 4,500 人突破 前期：-125 人 後期：+417 人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2022年度/2021年度 ■ 2023年度/2022年度



主な入試変更点 募集人員：医(医)<前>…92人→90人(総合型選抜の選考による欠員5人含む)

COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は125人(98)の微減。文理別では、文系は17人(99)の微減、理系は108人(97)のやや減少。後期はコロナ禍の影響緩和による道外からの併願増加もあり、前年度の大幅増加に続いて417人(110)の増加、志願者数は2012年度以来11年ぶりに4,500人を上回った。文理別では、文系は141人(113)、理系は276人(109)で、いずれも増加。なお、2段階選抜は後期の一部の募集単位で実施予告倍率を上回ったが緩和されて、前後期いずれも実施されなかった。

<前期日程>

- 文(90)は、系統への低い人気から減少。5年ぶりに志願倍率は3倍を下回った。
- 法(113)は、前年度減少の反動で増加。
- 経済(94)は、前年度は4年ぶりに増加に転じたが再び減少でやや減少。
- 教育(98)は、前年度大幅減少の反動はなく微減で2年連続減少。
- 総合入試文系(100)は、前年度増加の反動はなく前年度並。
- 総合入試理系(95)は、前年度やや増加の反動でやや減少。選抜群別では、(数学重点)(113)は前年度大幅減少の反動で増加、(物理重点)(111)は2年連続増加、(化学重点)(101)は前年度並。一方で、(総合科学)(64)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(生物重点)(94)はやや減少。
- 医(医)(92)は、減少で3年連続減少。志願者数は2015年度以来8年ぶりに300人を下回った。
- 医(保健)(128)は、大幅増加で2年連続増加。専攻別では、(保健/理学療法学)(72)は前年度激増の反動で大幅減少だが、その他の専攻はいずれも増加。特に、(保健/作業療法学)(247)は3年連続減少の反動で倍以上、志願倍率も1.8倍→4.6倍へアップ。(保健/検査技術科学)(163)は、2年連続減少の反動で激増。
- 歯(103)は、前年度激増の反動はなくやや増加。
- 水産(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 獣医(106)は、やや増加。

<後期日程>

- 文(109)は、増加で2年連続増加。
- 法(147)は、2年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も8.8倍→12.9倍へアップ。
- 経済(73)は、前年度80%以上の激増の反動で大幅減少。
- 教育(134)は、前年度増加に引き続き大幅増加。志願者数は4年ぶりに100人を上回った。
- 理(106)は、3年連続やや増加。学科・分野別では、(生物科学/生物学)(77)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少だが、その他の学科・分野はいずれも増加。特に、(生物科学/高分子機能学)(133)は前年度60%以上の激減と3年連続減少の反動で大幅増加、(物理)(120)も4年ぶり増加で志願倍率は11.6倍→32.3倍へ大幅アップ、(化)(117)は2年連続大幅増加。

- 工(113)**は、前年度の大幅増加に引き続き増加。学科別では、前年度唯一減少の(情報エレクトロニクス)(164)が激増、(応用理工系)(129)は2年連続大幅増加。一方で、(機械知能工)(70)は前年度激増の反動で大幅減少、(環境社会工)(99)は前年度並。
- 薬(103)**は、前年度70%以上の大幅増加の反動はなく、やや増加。系統へのコロナ禍における高い人気に加えて、厳しい経済環境下における職業直結型の系統でもあることから人気が続く。
- 農(124)**は、2年連続大幅増加。食糧問題等への関心の高まりから系統への高い人気が続いたことも影響。
- 水産(98)**は、2年連続増加の反動は小さく前年度並。
- 獣医(92)**は、前年度大幅増加の反動で減少。